

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	防災機能をもつ公園整備推進事業			事業番号	14-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	みどり公園課	陶山 晃	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	4	災害に強い安全なまちづくり	
		施策展開の方向	1	災害から市民の命を守るまちをつくる	
		施策	14	いざという時の危機対応力の強化	
予算事業名	地域公園整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	-
関連法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱				
国・県の計画等	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)			計画期間	
関連個別計画	-			計画期間	-
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市は、大規模地震対策特別措置法に基づき東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されている。また、東日本大震災等の大規模地震の相次ぐ発生により、都市公園における防災機能の整備・強化が求められている。				
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市地域防災計画に基づく広域防災拠点、緊急避難場所等の役割を持つ都市公園の防災機能の強化を推進し、安全で安心できるまちづくりの実現を目的とする。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・協同病院跡地における防災機能を備えた街区公園の整備を進めます。 ・既存の街区公園に防災機能を付加します。 				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	防災機能を持つ公園整備	用地買収、実施設計		公園工事	
	防災機能を持つ公園整備	街区公園への防災機能付加		街区公園への防災機能付加	
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	防災設備の整った公園数	1公園	3公園	4公園	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	防災機能を有する公園整備の方針については、各地区で開催する公園懇談会の議論を踏まえ、公園の選定、整備内容等の検討を進める。 新たな防災機能を備えた公園整備については、H27にまとめた基本設計の内容を踏まえ、実施設計を行う。 既存街区公園(1公園)について、防災機能付加工事を行う。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	防災機能を持つ公園整備	用地取得、実施設計	
	防災機能を持つ公園整備	既存1公園への防災機能付加	
実施した取組の内容	(仮称)桜台方面公園について、用地取得を実施するとともに、H27に実施した基本設計を元に実施設計を実施した。 八幡台公園に防災機能の付加(防災トイレ、かまどベンチ)を行った。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	防災設備の整った公園数	1公園	3公園
			29年度

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		143,868		千円					千円
内訳	国県支出金 ①	48,330		千円					千円
	地方債 ②	93,900		千円					千円
	その他特財 ③	0		千円					千円
	一般財源 (a)-①-②-③	1,638		千円			0		千円
国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金(都市防災総合推進事業、都市再生整備計画) 補助率:国 用地費1/3、委託費1/2							
コスト	その他特財の内容	受益者負担 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他								
人件費	正規職員	0.3	人	2,595	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.3	人	2,595	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				146,463	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	市民		単位				単位	
	定義								
	対象数			101,635	人				
				1,441	円			円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	(仮称)桜台方面公園について、用地取得及び実施設計を行った。また、既存街区公園1公園について、防災機能の付加を行った。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input checked="" type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	C	他都市の事業内容等	他市における防災機能を有する公園の割合に比べ、市内で防災機能を有する街区公園は限られており、他市と比べ低い水準にある。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	身近な防災活動拠点となる街区公園に防災機能を付加することは、災害に強いまちづくりを推進するために有効である。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	(仮称)桜台方面公園整備及び、街区公園への防災機能付加については、国の補助金を活用し、効率的に実施した。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	街区公園に対する防災機能の付加については、災害に強いまちづくりを推進するうえで、重要なことであり、今後も継続する必要がある。
次年度取組方針		(仮称)桜台方面公園整備事業については、H28に実施した実施設計に基づき、整備工事を実施する。既存の街区公園1公園について、防災機能付加工事を実施する。		
所管部長による総評		公園の多くは、伊勢原市地域防災計画において、広域避難場所や緊急(一時)避難場所に指定されている。現状では、防災機能が付加された公園は限定的であり、災害に強いまちづくりを実現するために、必要とされる防災機能の整備を着実に進める必要がある。		